

## 第4章 地域別構想

## 4-1 地域別構想の概要

### 1 地域別構想について

地域別構想の策定にあたって、地域の課題を把握し、住民の意見を反映するため、ワークショップや市民アンケートを実施しました。

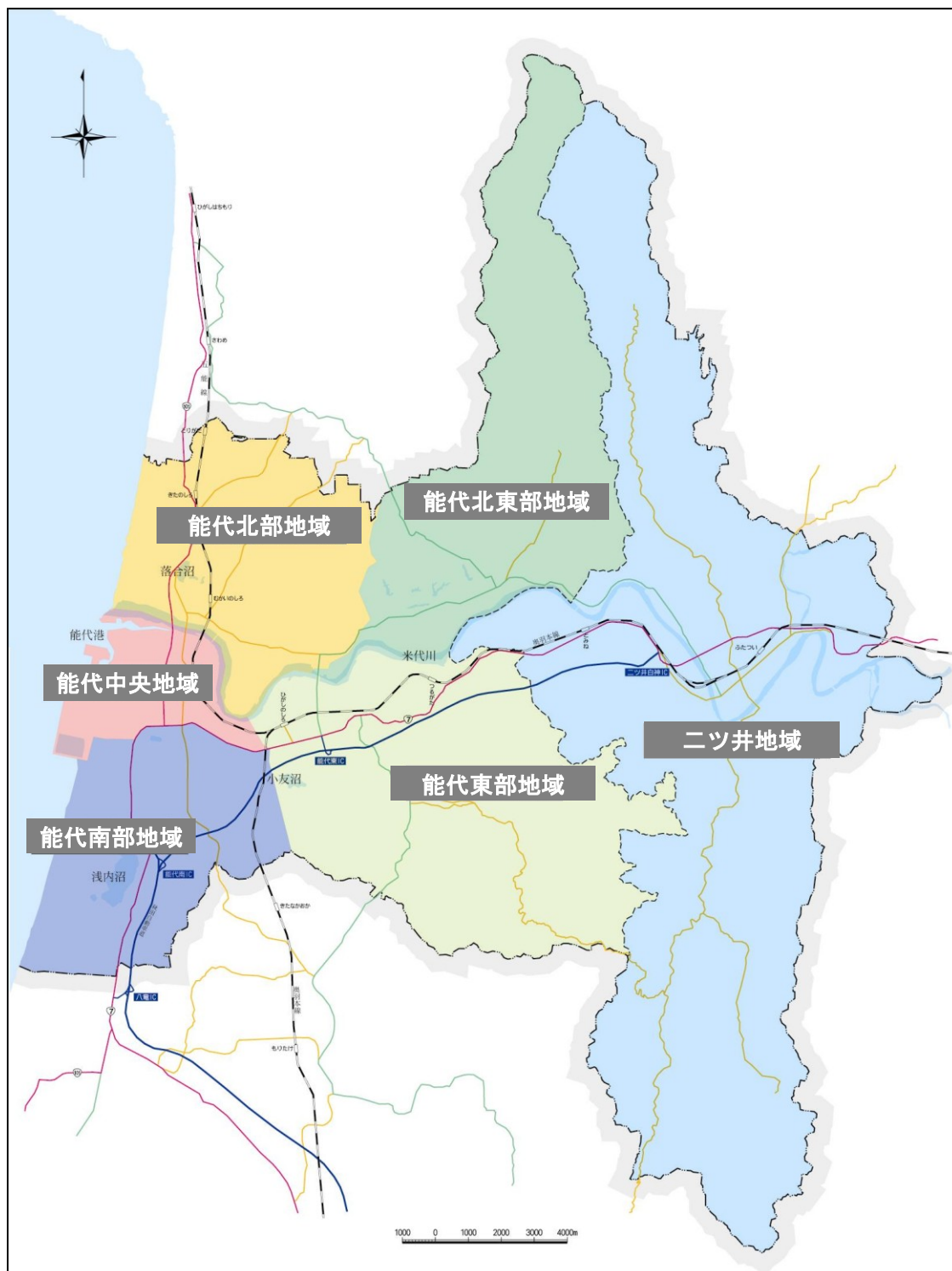
特に、ワークショップにおいては、単に話し合いをするだけでなく、実際にまち歩きを行い、地域の実情を把握したうえで、地域の自由な発想で「夢地図」を描いて頂きました。

地域別構想は、これら「夢地図」を参考にしながら、基本構想や全体構想で定めた目標、方針等を照らし合わせ、その地域の特性と最も関連するものに基づき決めました。

この地域別構想に掲げたまちづくりの方針は、今後の各地域のまちづくりにおいて、地域住民と行政が一緒になって、重点的に取り組んでいきます。

## 4-2 地域区分

地域別構想では、地域の特性、土地利用、コミュニティなどを考慮し、中学校区を基本として、能代中央（能代第一・能代第二中学校区）、能代北部（東雲中学校区）、能代北東部（常盤中学校区）、能代東部（能代東中学校区）、能代南部（能代南中学校区）、二ツ井（二ツ井中学校区）の6地域に区分して計画します。



### 4-3 地域の将来像と主要なまちづくりの方針

#### 1 能代中央地域

##### ○地域の将来像

能代市の核となり、まちなかのにぎわいと産業創出・振興を図る地域

##### ○主要なまちづくりの方針

- 中心市街地は、現在、行政及び業務機能をはじめ、商業、医療、教育、文化など様々な機能を有しており、今後もこれらの機能の活用を図ります。  
また、整備された都市基盤を活かし、商業等の活性化、街なか居住の促進、観光行事やイベントによるにぎわいの創出など、誰もが安心して住み続けられ、利用しやすく魅力的な市街地となるよう支援します。
- 重要港湾能代港（リサイクルポート）は、海の玄関口として、観光、産業など多面的に活用できるよう、港湾改修や物流機能の整備のほか、関連企業進出のための用地確保などについて、国、県や関係機関に働きかけるなど、港湾機能の充実に努めます。
- 風の松原では、その豊かな自然環境、景観の維持保全を図り、市民の憩いの場としての活用のほか、観光地の魅力づくりにつなげていく取組の促進や、効果的な情報発信による観光振興を図ります。  
また、能代公園や中央近隣公園（けやき公園）、能代河畔公園については、市民に親しまれる公園として活用を図ります。

#### 2 能代北部地域

##### ○地域の将来像

農業と生活が調和し、スポーツにより交流を図る地域

##### ○主要なまちづくりの方針

- アリナスや山田久志サブマリスタジアム周辺では、スポーツ、レクリエーションを通じた交流の促進によるスポーツのまちづくりを進めます。
- 市街地エリア周辺に広がる農地は、その維持保全に努め、地産地消による食の安全確保、適地適産と地域ブランドの確立、担い手の確保、人材育成などによる農業振興を図ります。
- 商業、医療、教育等の機能を有する落合地区土地区画整理事業区域などの市街地エリア内では、都市的土地利用の誘導を図り、生活環境整備による地域の利便性向上に努めます。

### 3 能代北東部地域

#### ○地域の将来像

豊かな自然と農業、田舎体験を活かした交流を図る地域

#### ○主要なまちづくりの方針

- 地域に広がる農地や森林は、その維持保全に努め、地産地消による食の安全確保、適地適産と地域ブランドの確立、担い手の確保、人材育成などによる農林業の振興を図ります。
- 焼山や毘沙門憩の森、大柄の滝、常盤川をはじめとする河川などでは、自然環境、景観と調和したレクリエーション空間の充実や、地域資源を活かした田舎体験交流を図ります。
- 日常生活を維持していくため、市街地エリアとを結ぶ交通手段の確保や生活利便性の向上に努めます。

### 4 能代東部地域

#### ○地域の将来像

新たに産業と雇用が生まれ、歴史と自然が調和する地域

#### ○主要なまちづくりの方針

- 能代工業団地では、既存企業の振興のほか、未利用地の活用を進め、エコタウン計画と連携した資源リサイクル産業の創出をはじめとする様々な分野での新たな産業展開を目指します。  
また、能代東IC周辺では、広域的な集客による中心市街地への交流人口の増加へとつなげるため、交通機能を最大限に活用し、商業、観光、物流など、地域全体の発展を目指す土地利用を図ります。
- 市街地エリア周辺に広がる農地や森林は、その維持保全に努め、地産地消による食の安全確保、適地適産と地域ブランドの確立、担い手の確保、人材育成などによる農林業の振興を図ります。
- 檜山地区や羽州街道、小友沼などでは、その歴史的な景観や豊かな自然環境の維持保全に努め、歴史の里づくり等の歴史、文化資源を活かしたまちづくり活動や、地域住民のコミュニティー活動などを支援します。

## 5 能代南部地域

### ○地域の将来像

木材産業をはじめとする様々な産業が調和する地域

### ○主要なまちづくりの方針

- 能代木材工業団地（内陸部）では、既存企業の振興のほか、新たな企業立地の可能性も見極めながら、木材高度加工研究所、木の学校などを中心とし、産学官が連携した木のまちづくりを推進します。
- 野菜団地等の農地は、その維持保全に努め、地産地消による食の安全確保、適地適産と地域ブランドの確立、担い手の確保、人材育成などによる農業の振興を図ります。
- 能代南IC周辺の利活用については、能代多目的実験場（ロケット実験場）、風力発電施設、鉱さい堆積場跡地も含め様々な可能性を視野に入れながら、方向性を検討していきます。

## 6 ニツ井地域

### ○地域の将来像

豊かな自然に囲まれ、産業の振興と観光により交流を図る地域

### ○主要なまちづくりの方針

- ニツ井地域の中心部は、行政、業務及び商業などの機能を有しており、今後もこれらの機能の活用を図ります。  
また、中心商店街などでは、地域住民等のニーズに対応した、魅力と活力のある商店街となるよう支援します。
- 烏野工業団地や沢口工業団地等では、ニツ井白神ICの交通機能を活用し、様々な分野での新たな産業展開を目指します。  
また、市街地エリアを囲む農地や森林は、その維持保全に努め、地産地消による食の安全確保、適地適産と地域ブランドの確立、担い手の確保、人材育成などによる農林業や木材産業の振興を図ります。
- きみまち阪県立自然公園や七座山、ふたつ白神郷土の森、仁鮎水沢スギ植物群落保護林などは、その豊かな自然環境、景観の維持保全を図り、効果的な情報発信による観光振興を図ります。  
また、きみまちの里フェスティバルなど、歴史、文化資源を活かしたまちづくり活動を支援します。